

「ナガセ東京大学『革新的学びの創造学』未来社会協創（FSI）基金」の 設立について

この度、国立大学法人東京大学（総長：五神 真／以下、東京大学）と株式会社ナガセ（代表取締役社長：永瀬 昭幸／以下、ナガセ）は下記の通り連携事業を推進していくこととなりました。

1. 背景

人類は、狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）を経て、現在、第4次産業革命といわれるAIなどの最新技術を活用した超スマート社会（Society5.0）に向かっています。そうした中、少子高齢化や人口減少、過疎化する地方と都市の格差、さらには経済格差といった難題を抱えた日本では、最新技術の活用により、国連のSDGs（Sustainable Development Goals）で謳われている「誰一人取り残さない」多様性を尊重し皆が活躍できる社会、すなわちインクルーシブな社会を実現することが課題となっています。

東京大学では、大学としての使命の根幹である教育と研究の展開の上に、新たな社会との連携を求めて、「地球と人類社会の未来に貢献する『知の協創の世界拠点』の形成」という構想を掲げ、このインクルーシブな未来社会の実現に向けた取り組みを進めています。

一方、ナガセは、「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」を教育理念＝企業理念とし、民間教育の立場から幼小中高大社の一貫した教育を全国約3000拠点において実践し、これまで蓄積してきた毎年十数万人規模の学習ビッグデータやAIを活用し教育の技術革新を推進し、次代のリーダー育成に取り組んでいます。

2. 目的

東京大学とナガセは、両者トップが上記背景に対する高い問題意識を共有し、課題解決に向けた取り組みを開始致しました。

具体的には、国籍・性別・年齢・障害の有無などにかかわらず誰もが、いつでも、どこにいても、それぞれの個性に合った最先端の教育を享受できる社会を実現すべく、社会が抱える諸課題の解決に取り組むその変革の原動力となりうる人材を育成するための学びを創造し、インクルーシブなより良い未来社会の実現に貢献することを目的として、「革新的学びの創造学」未来社会協創事業（FSI事業）を推進して参ります。

3. 取り組み内容

(1)「ナガセ東京大学『革新的学びの創造学』未来社会協創基金」の創設

東京大学とナガセは、地球と人類社会の将来に対する危機感を共有し、将来の発展に向けた知の蓄積に貢献し、教育を通じたインクルーシブな社会の構築に資するため、「ナガセ東京大学『革新的学びの創造学』未来社会協創基金」を創設し、両者が共通して掲げる課題の解決に向けた取り組みを進めて参ります。とくに少子高齢化や人口減少・過疎化する地方と都市の格差・経済格差といった難題を抱えた日本においては、最新技術の活用により「誰一人取り残さない」多様性を尊重し皆が活躍できる社会を構築することが重要です。そのために、東京大学が持つ最先端の研究成果とナガセが持つ人材育成の経験やそこに関わる圧倒的な量のビックデータをベースとして、「国籍・性別・年齢・障害の有無などにかかわらず誰もが健康で自由を享受できる社会」「いつでも、誰でも、どこにいても最先端の教育を受けられる社会」の実現を目指します。

(2)「ナガセ『革新的学びの創造学』寄附講座」の創設

東京大学内に「ナガセ『革新的学びの創造学』寄附講座」を創設し、これまでの平均的な教育の発想から脱却した新たな人材育成に必要な方法論を確立するとともに、AIや超高速ネットワークインフラを活用した革新的な学びの創造に取り組み、その成果を社会に発信いたします。

具体的には、

- ①「学習やスポーツの大量のデータに基づくヒトの学びのメカニズムの解明」
 - ②「学びのコツの効果的な習得方法と学び方の共有方法に関する研究」
 - ③「多様な評価軸と効果的な学習とを両立する人材育成の方法論の確立」
- を大目標として具体的な教育研究を進める予定です。

(3)運営方法

運営方法としては、東京大学・ナガセ両者のトップがリードする「ナガセ東京大学『革新的学びの創造学』未来社会協創事業運営協議会」を東京大学内に設置し、両者が共有する課題の解決に向けて、上記寄附講座の運営を含む本事業の舵取りを行って参ります。また、本基金の下に実施する具体的な事業の企画・予算・運営などに係わる事項については、「ナガセ東京大学『革新的学びの創造学』未来社会協創事業運営委員会」を設置して協議を進めます。

4.今後の展開

より具体的な研究テーマの発掘にあたっては、東京大学、ナガセ、および必要な専門家によるラウンドテーブルディスカッションを定期的で開催し、そこで提案された研究テーマについて新たな研究プロジェクトを立ち上げるなど、包括的な連携に基づき、柔軟な展開を図っていきます。またその成果に基づいて、ナガセと東京大学関連ベンチャー企業が協働することも検討いたします。

また得られた成果については、両者が共通して掲げる課題解決に向けてさらに展開を進めてまいります。

以上の取り組みについては、ナガセが東京大学の未来社会協創基金の中に設立するプレミアム基金を通して進めていきます。このプレミアム基金は、ナガセからの総額2億円（5年間合計）の寄付に基づき設立するものとし、上記運営協議会のもとに実施計画を立て基金を運営してまいります。

（問い合わせ先）

国立大学法人東京大学社会連携部社会連携推進課

TEL：03-3815-8345

MAIL：ext-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp



株式会社ナガセ 永瀬昭幸代表取締役社長（左）東京大学 五神真総長（右）



左から、株式会社ナガセ 渋川専務執行役員、永瀬代表取締役社長、東京大学 五神総長、藤井理事・副学長